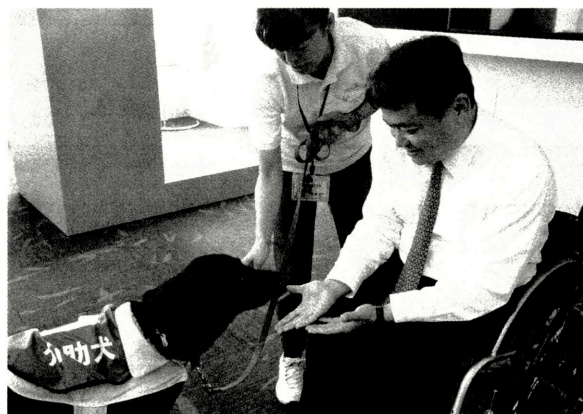


介助犬の体験イベント開催

ドイチェ

ドイチェ・アセット・マネジメントは8月2日、日本介助犬協会から講師を東京・本社の山王パークタワーに招き、介助犬の普及活動を社員へ周知する「介助犬体験教室」を開催した。協会のPR犬の「ヌーン」(3歳メス、ゴールデンレトリバーのミックス)が、車椅子に乗った介助者にカギを拾ったり、携帯電話を探して来るデモンストレーションを行ったりした。自身も体験した土岐大介社長は「社員に介助犬の活動を知ってもらう良い機会になった」と語った。



介助犬のヌーンから鍵を受け取る土岐社長

同協会へは2013年から「DWS グローバル公益債券ファンド」の信託報酬の一部を寄付しており、累計500万円になっている。同日も参加した約20人の社員が関連グッズの購入や寄付などで協力した。

今夏、ドイツ銀行グループ全体で「ボランティアサマー」を実施。今回のイベントのほか、児童養護施設の子どもたちへグッズを寄贈するボランティア活動などを行っている。